

教職員からのおすすめ本



看護学部 星山 佳治先生



「JAZZ遺言状」
著者：寺島 靖国 (DU BOOKS 2018)

JAZZを聴く人は、1,000人に1人といわれている。ほとんどの人はJAZZを聴かないことになる。JAZZという音楽ジャンルがあることは誰でも知っているのに、聴く人は僅かなのである。その理由とされているのが、「JAZZは難解だから」ということらしい。

この本の著者は、長年ジャズ喫茶のオーナーで、ジャズレコードの製作販売まで手掛けるようになった人である。この著者は、JAZZを難解にしてきたのは、かつての有名ジャズ評論家諸氏が勧める昔の名盤にあると言う。

昔の名盤を入り口にする、「録音が悪い」、「コアなジャズファンが好む」という入り口には相応しくないものになっている。それでは著者の勧める入り口とは、①録音が良い ②ピアノトリオ ③知っている曲がある という3つになる。

聴いてみて、1曲でも心地よいと感じたものがあれば、それで十分なのである。そして、また聴きたいと思う曲があれば、それがその人にとっての名盤、愛聴版となるのである。

私は、好きな曲を聴くと、何かしようという気持ちが湧いてくる。それがJAZZの魅力だと思う。

看護学部 山下 麻実先生



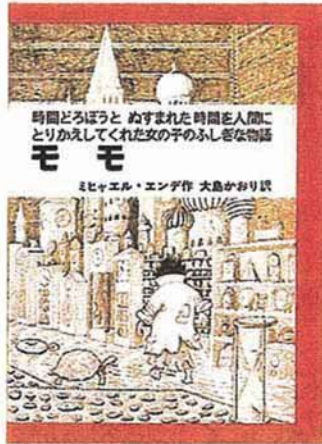
「サラバ!」上・中・下
著者：西 加奈子 (小学館文庫 2017)

西さんの巧みな表現力と語彙、筆力、登場人物の強烈なキャラクター、私が西アジアで生活していたこともあったせいか、主人公が幼少期に育ったエジプトの世界にぐいぐい引き込まれていった。さらに読み進めていくと、落ちぶれた中年男

性のとてつもなく壮大な自叙伝の中に、家族、人間関係、アイデンティティ、マイノリティ、コンプレックス、信仰、芸術、ジェンダーなどが社会的な出来事とともに影響しあうストーリー構成になっており、同じ時代を生きている1人の人間という立場から物語に入り込んでしまう内容だった。「あなたが信じるものを、誰かに決めさせてはいけないわ」

これは終盤、最も強烈なキャラクターであった姉が大人になり、主人公に投げかけたメッセージである。このメッセージが主人公だけでなく、読んでいる私にも「ズシン」と突き刺さった。「サラバ!」を読んで、やはり一度しかない人生は自分らしく自分を貫き通す生き方をしなければ、一生のうちでいつかしわ寄せが来てしまうと感じた。つまり、自分の人生を自分で決め続けることに自信を持てと「サラバ!」に背中を押された気がした。

教職員からのおすすめ本



こども教育学部 相賀 頌子先生

「モモ」

著者: ミヒヤエル・エンデ

訳: 大島 かおり (岩波書店 1976)

時間どろぼうとぬすまれた時間を人間にとりかえしてくれた女の子のふしぎな物語です。時間に追われ、人間本来の生き方を忘れてしまっている現代の人々に、風変りな少女モモが

時間の真の意味を気づかせてくれる一冊です。生きていく上で何が一番大切か、何を守るべきかを考えさせられます。

「時間がない」「そんなことをしても無駄だ」と忙しがつている学生にこそ、ドキドキハラハラする想像の世界を体感してほしいと思います。モモと出会うことで、時間に対する考え方が変わるかもしれません。



総務課 岡村 壮一さん

「三国志」全12巻

著者: 宮城谷 昌光 (文春文庫2008~2015)

ゲームバトルを繰り返している皆さんは主要な登場人物をご存知でしょうが、この戦いに至るまでには長い年月があり、天災、飢饉、政争、異民族の襲来、重税が中国全土を蝕んできました。時代が疲弊してくると長い混乱が続き、戦いを招き、そして次の時代に導かれるのかもしれません。

楊震の「四知」から始まるこの物語は、度重なる

混乱の時代を見事に描き出していますが、全編を通して、為政者は私利に流されることなく正しく世を治め、統治者は正しく組織を治めることが命題であると考えさせられます。昨今の日本においては、企業の様々な不正問題や企業、団体の一部上層部の不正問題などが多く取りざたされていますが、楊震のこの言葉を知っていれば、いずれ不正や密事は露見することがわかるはずです。

今の難しい世の中を生きる知恵も、多く読み取ることができるこの本は、まさに「故(ふる)きを温(たず)ねて新しきを知る」一冊であると思います。

教職員からのおすすめ本

中室牧子
津川友介

Causal
Inference
in Economics

データから
真実を見抜く
思考法

「テレビを見ながら子どもの学力が下がるのか」
なぜ同じ「テレビ」なのに、世の中にある
「因果関係」が異なるのか？

西内啓

統計学と経済学の最新の見え方

原因と結果の 経済学

企画課 清水 道明さん

「原因と結果」の経済学 データから真実を見抜く思考法
著者: 中室 牧子・津川友介 (ダイヤモンド社 2017)

簡単で読み易い本です。データの分析について、数学ではなく、「日本語」で表してあり、数学が苦手でも十分理解できます。『はじめに』で、「因果関係がはっきりしない、根拠のない通説が山のようにあるのが、教育と医療の分野だ」とあります。本学の教育内容と重なります。

「メタボ健診を受けていれば長生きできるのか」「認可保育所を増やせば母親は就業するのか」「テレビを見せると子どもの学力

は下がるのか」など「通説」のように言われている事例を取り上げ、結果的にはすべてについて「因果関係」を否定しています。

この本のエッセンスは、最初の『はじめに』と最後の『補論』に集約されています。『はじめに』で問題の所在を把握し、『補論』①で「分析」に関する妥当性だけでなく限界も知ったうえで、『補論』②のサマリーを理解すれば概ねこの本を読んだことになります。

図書館からのお知らせ



文献取寄せサービスについて

学内にお探しの資料・論文がない場合、他の大学図書館や国立国会図書館に複写を依頼し取寄せることができます。(※公表されている著作物に限ります)

依頼方法

図書館カウンタースタッフにお声かけください。申込用紙をお渡しいたします。
(依頼をする前に、学内所蔵・電子ジャーナルの有無を確認してください)

取寄せにかかる日数

依頼する時期や依頼先によって違いがありますが、概ね申込日から1週間~10日程度です。

料金

依頼先により異なりますが、概ねコピー代と送料等の実費(¥30~50/枚+¥80~200)です。

受取について

複写物が到着次第、Emailで連絡します。開館時間内に図書館へお越しください。



本屋大賞発表! 「かがみの孤城」 著者:辻村 深月(ポプラ社 2017)

年に1度、「新刊を取り扱う書店で働くすべての人」の投票によって、「いちばん売りたい本」が決定する本屋大賞。

2018年大賞には辻村深月さんの『かがみの孤城』が見事選ばれました。

あなたを、助きたい。学校での居場所をなくし、閉じこもっていたところの目の前で、ある日突然部屋の鏡が光り始めた。輝く鏡をくぐり抜けた先にあったのは、城のような不思議な建物。そこにはちょうどどこと似た境遇の7人が集められていた…
(ポプラ社HPより引用)



展示コーナー歳時記

(展示コーナーの本は貸出できません)

6月企画

雨に関する絵本

展示期間:2018年6月5日～7月6日
雨の日は楽しくなる♪読み聞かせ等に最適な雨に関する絵本を展示しました。



8.9月企画

映像化された小説

展示期間:2018年9月14日～10月9日
秋の夜長におすすめの小説。特に映像化された小説を展示しました。



7月企画

その時どうする?!危機管理対策本特集

展示期間:2018年7月20日～8月31日
相次いで発生する地震・台風などの自然災害。危機に際してどう行動するのか特集しました。

10月企画

せなけいこの世界

展示期間:2018年10月12日～11月2日
ハロウィンにちなんで、「おばけほん」が有名な絵本作家、せなけいこさんの作品を展示しました。

図書館開館予定

2019年1月							2019年2月							2019年3月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5						1	2						1	2
6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9	3	4	5	6	7	8	9
13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16	10	11	12	13	14	15	16
20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23	17	18	19	20	21	22	23
27	28	29	30	31			24	25	26	27	28			24	25	26	27	28	29	30
														31						

■ 休館日
 ■ 10:00～17:00
 ■ 短縮開館 9:00～17:00

それ以外は8:30～21:30(但し学部生の利用は20:00)まで

ドリンクコーナーができました!

館内は飲用禁止ですが、ペットボトルや水筒など密閉できるフタ付きの飲み物に限り、指定のエリア(丸テーブル)では飲用可能となりました。利用者みなさんの、ご理解とご協力をお願いします。